



「ナイスチャレンジ」～本荘由利中学校陸上競技大会～

5月26日(木)に水林陸上競技場にて、第75回本荘由利中学校陸上競技大会が開催されました。本校は希望制で参加することになっていますが、〇〇〇〇さん(1年)が女子100Mに、〇〇〇〇〇さん(1年)が女子走り幅跳びに、〇〇〇〇さん(2年)が男子100Mに、〇〇〇〇〇さん(2年)が男子110Mハードルにチャレンジしてくれました。本番までの陸上練習では一人一人が意識高く、主体的に練習に臨む姿が見られました。そのかいあって、トラック競技は全員、上位入賞を果たしました。中でも、2年生の二人は昨年と比較して、走りに磨きがかかり、成長を感じるパフォーマンスだったと思います。

大会翌日の朝、男子110Mハードルでダントツの1位に輝いた〇〇〇〇〇さんに、勝因は何かと尋ねると、「1位を獲るために、YouTube 動画でハードル競技の練習法や走法をたくさん研究した」と答えてくれました。何を指すのかを明確にして、そのために自分に何が必要かを考え、行動したことが目標達成に結び付いたと言えます。この勝利(目標達成)の法則を大中生全員で共有し、総体やコンクールに生かしていきましょう。

栄光の記録「第75回本荘由利中学校陸上競技大会」・野球3校リーグ戦

【男子110Mハードル	第1位】	〇〇〇〇〇さん	(18"0)
【男子2年100M	第3位】	〇〇〇〇〇さん	(12"9)
【女子1年100M	第3位】	〇〇〇〇〇さん	(14"5)



【野球3校リーグ戦 優勝】野球部

運動会での大中生の走りを見ると、陸上競技大会で活躍できる生徒がたくさんいることが分かりました。来年の陸上競技大会では、もっともっと、たくさんの生徒がチャレンジしてほしいと思います。十分、勝負できますよ。

「One for all, All for one」～総体に向けて～

早いもので総体まで、17日となりました。3年生にとっては3年間の部活動をしめくくる大会となります。チームとして最高の状態で総体に臨み、3年生がもてる力を十分に出し切れるように、全校生徒一人一人が意識をそろえて総体に向かってほしいと思います。次の点について意識をそろえましょう。

- ①「One for all」、一人一人が大内中学校〇〇部の一員としての自覚を持ち、チームのために全力を尽くす覚悟ができているか。
- ②「All for one」、一人のミス全員でカバーする雰囲気ができているか。チームメイトがボールを奪われたとき、または、ミスしたとき、全力で奪い返す(カバーする)覚悟ができているか。
- ③一人一人が仲間を励ましたり、チームの士気を高めたりするような声が出せているか。特に、ミスした時、ピンチの時、互いのコミュニケーションが取られているか。
- ④自分を支えてくれている仲間や先生、コーチ、家族、地域の人に対する感謝の気持ちが、自分の発する言葉や行動に込められているか。自己中心的な言葉づかいや行動はないか。
- ⑤部活動と生活と学習は全てつながっていると考え、自分のもてる力の範囲内でやるべきことにベストを尽くそうとしているか。クラスや学年の集団生活に貢献しようとしているか。



科学部による応援練習

これからの総体までの17日間は、チームも、個人も、大きく成長する「黄金の17日間」となります。今週より、科学部による応援練習が始まり、昨日の抽選会では対戦相手が決まりました。「全力に悔いなし」で全校が心一つに総体へと向かっていきましょう。

【裏面に、今年度の「学校経営構想」を掲載しました。御確認ください。】